

## 生活支援を住民同士の支えあいで実施する市民団体のネットワークづくり

生活サポートNPO等協議会

磯崎 寿之、横溝 美和、大橋 孝峰、辻本 きく夫、鬼塚 正徳

(市民活動 共生社会 生活支援)

### 1. 目的

生活サポートNPO等協議会は、2017年9月に、住民同士の支えあいによって多様な生活支援サービスが実施、創出される共生の地域社会づくりに取り組むために、世田谷区社会福祉協議会の事業の一つとして、区内のNPOなどの市民活動グループが集まってスタートしました。昨年からは地域が抱える生活支援の課題を具体的に解決するために「木曜勉強会」を開催して、一緒に問題を考える仲間を広げ始めました。

### 2. 実践内容

(1) 参加団体 区内のNPO等28団体(2020年10月)

(2) 活動

1) 例会を隔月に開催し、地域の課題と解決策を語り合います。

2) 開催イベント(参加団体同士の交流や世田谷の共生社会のイメージを作るために開催)

- ・2018年3月22日 あなたの出番ですよフェスタ
- ・2019年1月14日 世田谷の共生社会を住民参加で創るシンポジウム  
(世田谷の共生社会のビジョンと地域包括ケアシステムを考える)
- ・2019年11月3日 出番ですよフェスタ「役に立つ非常食、レスキューフーズを学ぶ」



2019.11.3 出番ですよフェスタ

3) 木曜勉強会

2019年7月から、市民が主体となって「具体的な生活支援の課題」を解決するしくみの実現のきっかけを作ることを目的として、隔月の第3木曜日に勉強会を開催しています。

- ・2019年度は以下の3つのテーマで、4回開催しました。
  - ①院内介助のシステム(病院内の付き添いスタッフの確保を考える)
  - ②支援が届きにくい家族のサポート(支援者・当事者からの活動内容と現状の報告)
  - ③ITを活用した生活支援(高齢者の暮らし・防災・健康に役立つスマホ利用など)

<2020年度の開催(予定含む)>

- 第1回 7月16日(木) 支援が届きにくい家族のサポート～我々にできること
- 第2回 9月17日(木) 子育て家庭を地域で支える～里親制度や児童相談所の役割
- 第3回 11月19日(木)(予定) コロナの影響を受けた市民生活と市民活動  
～様々な立場からのお話とこれから
- 特別回 12月18日(金)(予定) 交通不便地域のお出かけ支援～お出かけバスの運行など
- 第4回 1月21日(木)(予定) 支援が届きにくい家族のサポート
- 第5回 3月18日(木)(予定) 生活支援の現場のコロナの影響と対応

### 3. 結果（木曜勉強会で、私たちが学んだこと）

- (1) 介護保険などのフォーマルな制度では、院内の付き添いはほとんどできないこと、そのために、病院へ行くことが困難な人たちが多く出始めていること。
- (2) 「ひきこもり」の理解と促進が必要、正確な情報が伝わっていない。居場所づくりが必要、行政側ができること・できないことがあり、つなぎの支援が必要（縦割りの隙間支援）
- (3) 区民のスマホを使いこなしたいというニーズはたくさんあり、今年に入ってコロナ禍でステイホームや新しい生活様式を強いられ疲れ孤立しがちな高齢者の支援が必須、スマホを利用したビデオ通話や会議の必要性を痛感



2020.1.16 木曜勉強会

### 4. 今後の活動の進め方

- (1) 共生社会を目指して、助け合い活動に取り組む既存の団体・組織と生活支援の担い手のネットワークを広げ、新たな市民活動団体を育成し支援する。
- (2) 住民の多様な生活支援のニーズを把握して、その問題の当事者も参加する形で、問題解決と支援のしくみづくりに取り組む。あわせて世田谷の地域包括ケアシステムのネットワークに参加し、市民の立場から地域課題の解決に寄与する。
- (3) 上記に関する必要な情報を収集し、市民団体間で共有して、意見交換できる環境を整備する。

~~~~~  
<助言者コメント>

古閑 学（社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団理事長）

住民同士の支えあいによる多様な生活支援サービスを創出することにより共生の地域社会を実現することをめざして、多くの市民活動グループが集まり生活支援の課題解決に取り組まれていることは、世田谷の地域福祉の推進及びその基盤強化に大きく貢献するものと確信します。

とりわけネットワークを構成する各活動団体が、それぞれの活動を通して見えてくる既存の仕組みの谷間にある潜在的な問題を顕在化させて、問題解決への糸口を各団体が蓄積した知識・経験を生かして探り市民レベルでの対応へと進めることは、きめ細やかで多様な支援に支えられる共生の地域社会の実現には欠かせません。

それゆえ継続的な「木曜勉強会」の取組みを通して、具体の支援へとつながる実践的な環境づくりへの機会を創出し推進していただいていることに大きな期待を寄せるものです。

コロナ禍で、多くの市民活動団体の活動や市民生活が大きな影響を受けております。「新しい日常生活」が定着した社会や「アフターコロナ」での活動の在り方、あるいは市民レベルでの生活支援の再構築などの喫緊の課題についても、積極的に対峙していただければと願います。